



SHINTOKU KUSO NO MORI  
FILM FESTIVAL 2016

# 第21回 SHINTOKU 空想の森映画祭 2016 ■ 2016年9月17日(土)・18日(日)・19日(月)の3日間

3日目 ● 19日(月)

● 10:00~11:40 ドキュメンタリー

## 映画 ● 朴壽南監督最新作「沈黙」完成披露上映 日本初上映!

監督:朴壽南 撮影:大津幸四郎 ハン・ジョング 朴麻衣他 編集:朴麻衣  
アリランのうた製作委員会 / 2016年 / 100分 / カラー / 日本・韓国

現在韓国で登録されている「慰安婦」被害者の生存者は40名(2016年7月現在)。その一人イ・オクソンさんは、今から22年前の1994年、14人の仲間たちと日本政府の謝罪と補償を求め立ち上がり、日本へやってきた。

朴壽南は「ハルモニたちを支える会」を立ち上げ、彼女たちの人権と名誉の回復をかけた4年間のたたかいを共にする。日韓両政府によって進められている解決の「合意」を当事者の眼差しで見ると、20年前の記録をつむぎ、すでに他界されたハルモニたちと、そして今、この政治決着と向き合っている生存者イ・オクソンさんのメッセージを伝える。「謝罪・賠償・慰安婦・解決」と一括りにされ繰り返される、大義やイメージを突き抜ける、生き生きとした当事者たちの姿がみえてくる。



## 朴壽南監督プロフィール

1935年三重県生まれ。在日朝鮮人2世。1958年発生した(小松川女子高校生殺害事件)死刑囚の李珍宇(イ・チンウ)との往復書簡「罪と死と愛と」で在日朝鮮人差別問題を提起。

1965年より原爆被災、沖縄戦の歴史の中で、その存在すら語られてこなかった朝鮮人犠牲者の実態を掘り起こし、一貫して日本の植民地支配の責任を問いつづけてきた。作品に「もうひとつのヒロシマ」(1986年)、「アリランのうたーオキナワからの証言」(1991年)、「ぬちがふう(命果報)ー玉砕場からの証言ー」(2012年)

〈お断り〉空想の森映画祭と同時期に韓国で開催されるDMZ(非武装地帯)映画祭に参加のため、朴壽南監督は来られなくなりました、ご了承ください。

● 13:00~16:00 劇映画+トーク

## 映画 ● 福間健二監督作品「あるいは佐々木ユキ」

2013年 / tough mama / 80分 出演 / 小原早織・吉野晶・千石英世・文月悠光・川野真紀子  
脚本・監督 / 福間健二 撮影 / 鈴木一博 編集 / 秦岳志 音響設計 / 小川武 <http://sasakiyuki.doorblog.jp>  
\*福間健二監督最新作「秋の理由」の予告編も上映します。

## + 福間健二監督トーク「新得で劇映画を作るとしたら」



20歳の女の子、佐々木ユキの夢と現実を、インタビュー、詩、ダンスをふくむ斬新な構成によってとらえた作品。ユキは、その分身的存在や彼女を見守る人物たちと出会い、別れ、次のステップへと向かいます。アゴタ・クリストフ、アンデルセン、文月悠光、そして「青い家」をはじめとする福間健二の詩を盛り込んだ、アイドル・コミック・ポエトリー・ファンタジー。21世紀の妖精物語です。

〈福間健二監督より〉今年の1月と6月、新得で取材をしました。いきなり新得で劇映画を作るといのは、簡単ではありません。製作面でのさまざまな課題が見えています。作品の内容についてもはっきりと固まったものはまだなく、「天使の生きる場所」という仮のタイトルと、新得で農業を営む若いカップルを中心に、おぼろげに浮かんでいるだけです。本当に実現できるかどうかかわからない段階での、途中報告。そして「現在」の映画と表現について思うことを話します。

## さよならパーティー ● 17:00~ (参加費●¥1,000)

☆今年も十勝・新得の美味しいものがいっぱいのお立派パーティー、お楽しみに!

## プログラム早見表

9/17(土)★1日目

● 13:00~映画 ● 庄殺の海・第二章「辺野古」

● 15:30~山城博治 講演 ● 辺野古・高江・沖縄

● 19:00~Oki Live Traditional rhythm of Tonkori  
トンコリ 永遠に止まらない伝統のリズム

9/18(日)★2日目

● 10:00~高江・辺野古最新映像レポート  
〈緊急報告!〉佐々木弘文 ● 高江・辺野古の現場から

● 13:00~映画 ● 「ONE SHOT ONE KILL」上映  
+ 藤本幸久監督トーク「沖縄の海兵隊とは」

● 15:30~映画 ● 「アメリカばんざい」上映  
+ 影山あさ子監督トーク  
「戦場に送られたアメリカの若者たちの現在」

● 19:30~ きむきがんソロライブ

9/19(月)★3日目

● 10:00~映画 ● 朴壽南監督最新作「沈黙」完成披露上映

● 13:00~映画 ● 福間健二監督作品「あるいは佐々木ユキ」  
+ 福間健二監督トーク  
「新得で劇映画を作るとしたら」

● 17:00~ ● さよならパーティー

●...ドキュメンタリー ●...ライブ ●...劇映画 ●...講演 ●...パーティー

すべては  
夢見ることから  
はじまった

SHINTOKU 空想の森映画祭は今年で21回目...

- 【アクセス】
- 帯広空港より~まずJR帯広駅まで連絡バスで40分帯広駅からJRで約1時間
  - 千歳空港より~JR特急南千歳乗換約2時間
  - 千歳空港より~道東道経由・十勝清水ICから一般道、約2時間
  - 札幌から~JR特急で約2時間、車で約3時間半(高速経由で約2時間半)
  - 旭川から~JR利用で約3時間、車で約2時間半(狩勝峠経由)



★JR新得駅からは約10km、歩くと2時間程かかります。JRで新得に到着された方は0156-64-3161(会場直通)まで電話ください。タイミングが良ければ、他の誰かの車に便乗できるかも知れません!

# 第21回 SHINTOKU 空想の森映画祭

主催 ● SHINTOKU 空想の森映画祭実行委員会 共催 ● 北海道新聞帯広支社

〈会期〉 2016年  
9月17日(土) → 19日(月・祝)

〈会場〉 新内ホール(旧新内小学校)  
北海道上川郡新得町字新内

- 〈入場料〉
- 3日間通し券 ■ 3,000円  
(パーティー以外のすべてのプログラムに入場出来ます。)
  - 1日券 ■ 1,500円  
\*パーティーは別料金
  - さよならパーティー ■ 1,000円  
\*通し券・1日券とも前売り券は発行致しません。  
当日受付でお買い求めください。  
\*パーティーを除く全てのプログラム、高校生以下無料。

■ お問い合わせ ☎ 090-8278-6839 (映画祭事務局 / 藤本)  
\*または ☎ 090-6216-1528 (映画祭帯広事務所 / 野田)  
■ 会場直通(会期中のみ) ☎ 0156-64-3161 (新内ホール)

<http://kuusunomori.com/>  
★ボランティアスタッフ募集! ★出店者も募集しています。  
★プログラムはWEBからもご覧になれます。

Graphic by Nekomataya

1日目●17日(土)

●13:00~14:47 (107分) ドキュメンタリー

映画●**圧殺の海・第二章「辺野古」**

藤本幸久・影山あさ子 共同監督作品 2016年/107分/森の映画社/カラー  
2014年11月、「あらゆる権限を行使して新基地建設を阻止する」と公約する翁長沖縄県知事が誕生。しかし、国は県民の抵抗を力強く押さえつけ、工事を進めようとする。監視庁機動隊の派遣、知事から埋め立ての許認可権限を取り上げる代執行訴訟を提訴…。しかし、翁長知事も、沖縄県民も屈することは無かった。2016年3月4日、代執行訴訟は和解となる。沖縄県民は、どうたたかったのか。その抵抗の最前線を描く。



(抗議船を転覆させた海上保安庁 2015年4月28日撮影 鈴木桃美子)

藤本幸久・影山あさ子  
2004年から共同で辺野古の取材・撮影を開始。辺野古や高江の新基地建設、アメリカの基地と戦争の取材を続けている。2014年7月の辺野古新基地建設着工からは、4名の撮影スタッフとともに6名で現場に張り付いている。



■共同作品に「Marines Go Home - 辺野古・梅香里・矢白別」(2005年)、「アメリカばんざい」(2008年)、「アメリカ戦争する国の人びと」(2009年)、「ONE SHOT ONE KILL international version」(2011年)、「ラブ沖縄@辺野古・高江・普天間」(2012年)、「圧殺の海」(2015年)、「圧殺の海 第2章「辺野古」」(2016年)

●15:30~17:00 講演

山城博治 講演●**辺野古・高江・沖縄**



やんばるの森・高江でのヘリパッド建設阻止行動、オスプレイ配備に反対しての普天間基地封鎖、辺野古新基地建設を止めるためのキャンプシュワブゲート前行動。常に最前線で体を張る、沖縄の反基地のリーダー。沖縄平和運動センター議長。

〈お願い〉高江・辺野古の現場が大変な状況になっており、責任者としての山城博治さんが現場を離れることが出来ないということも十分に予想されます。その場合は別プログラムとなります。最新のプログラムについてはWEBまたは電話でお問い合わせください。

●19:00~21:00 ライブ

■Oki Live

トンコリ 永遠に止まらない伝統のリズム

Traditional rhythm of Tonkori

リズム楽器としてのトンコリにスポットをあてる一夜です!



Oki プロフィール

旭川アイヌの血を引く、カラフト・アイヌの伝統弦楽器「トンコリ」の奏者。1993年より樺太アイヌの弦楽器トンコリの再生に取り組み、トンコリの演奏と楽器製作を始めた。アイヌの伝統を軸足に斬新なサウンド作りで独自の音楽スタイルを切り拓き、知られざるアイヌ音楽の魅力を国内外に知らしめてきたミュージシャン/プロデューサー。同時に新しいアイヌ音楽を創造し世に送り出すレーベル CHIKAR STUDIOを運営。

安東ウメ子、Marewrew、Oki Dub Ainu Bandなど20タイトルの作品をプロデュース。現在進行形のアイヌ音楽を世に送り出し、日本での活動のほかWOMADなど海外音楽フェスにも多数出演している。2016年3月にOki Dub Ainu Band のアルバム"UTARHYTHM"をリリース。

2日目●18日(日)

●10:00~12:00 (120分) ドキュメンタリー

緊急報告! **高江・辺野古最新映像レポート**  
(森の映画社沖縄撮影チーム)  
+ 佐々木弘文緊急現場報告

7月10日の参議院選挙で、新基地建設反対の伊波洋一さんが沖縄県選挙区で現職大臣を破って当選した翌朝、国は東村・高江でのヘリパッド工事のための作業を再開。1000名の警察官がやんばるの森に配置され、全国から500名の機動隊が動員された。戒厳令下のような中、座り込みのテントも、車両も、人びとも排除した。防衛大臣は8月上旬には、辺野古の陸上工事も再開と言明。森の映画社沖縄撮影チームは、高江・辺野古で撮影を続けている。現地の最新映像をぜひ、ご覧いただきたい。



佐々木弘文●**高江・辺野古からの緊急報告の**  
**ために沖縄から新得にやってくる!**

高江の森で、辺野古の海で、キャンプシュワブのゲート前で、常に最前線に立って阻止行動を続けている。

●13:00~15:00 (120分) ドキュメンタリー

映画●**「ONE SHOT ONE KILL」**上映

藤本幸久監督作品■2011年/カラー/68分/日本語・英語字幕版  
プロデューサー・インタビュアー 影山あさ子 / 撮影 栗原良介

+ 藤本幸久監督トーク「**沖縄の海兵隊とは**」

沖縄には在日米軍基地の74%が集中しているが、その3分の2は海兵隊の基地だ。沖縄の基地は世界の戦場と直結している。ベトナムへ、イラクへ、沖縄から出撃した。「戦争する国」になろうとする日本。今、自衛隊が海兵隊になろうとしている。12年の沖縄取材から見えてきた沖縄海兵隊の実像。



ONE SHOT ONE KILL international version

人は人を殺せるようには、できていない。では、どうすれば、普通の若者が戦場で人を殺せるようになるのか。サウスカロライナ州パリスアイランド。米海兵隊ブートキャンプの12週間。



●15:30~18:00 ドキュメンタリー

映画●**「アメリカばんざい」**上映

2008年/日本/118分/森の映画社/日本語字幕版/監督:藤本幸久  
プロデューサー&インタビュアー:影山あさ子

+ 影山あさ子監督トーク

「**戦場に送られたアメリカの若者たちの現在**」

昨年来、「その後のアメリカ」(仮題)撮影中。「アメリカばんざい」の登場人物らのその後の暮らしや帰還兵たちの現在をお話します。



パブロ・バレデスと家族

主人公は、24歳の二人の青年、ダレルとパブロ。ダレルはイラク帰還兵。高校卒業後、どんなに働いても生活できず、陸軍へ。イラクに派遣され、イラク市民100人を殺す戦闘を経験する。

パブロは元海軍兵士。バイトを3つ掛け持ちしても、大学の学費が払えず、海軍へ。横須賀に駐留中、妻となる女性・詩織と出会い、やがてイラク派遣を拒否する兵士となる。

格差社会の底辺から、若者たちが戦場へと押し出されてゆく。人を殺してしまった若者は、どうやって生きてゆけばよいのか。戦争を拒否した若い夫婦はどうやって暮らしてゆけばよいのか。

●19:30~21:00 ライブ

■**きむきがんソロライブ**



「**想sou**」~見つめる暮らし 命と私~

在日朝鮮人3世・劇団石(トル)主宰。パワフルな笑いの中にも常に社会的弱者の立場にたった作品を手がけ、全国各地でひとり芝居・演劇ワークショップなどを展開する傍ら、ギターを持って沖縄・辺野古に通い続ける。今回は現場から生まれた歌で、私達の暮らし、命の尊さについて表現する